

六稜同窓会138周年総会

日時：2011年10月30日(日) 13時から

場所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

開催のご案内

総会	12:00	受付開始
多目的ホール	12:45	在校生吹奏学部の演奏
	13:00	総 会 活動報告



Kenji Ishikawa

【いしかわ・けんじ】北野高校92期。
東京大学法学部を卒業後、同学部助手
として樋口陽一に師事。東京都立大学
法学部助教授、同教授を経て、現在は
東京大学法学部教授。専門は憲法学。著
書・論文に、『自由と特権の距離(増補
版)』(日本評論社、2007年)、『ホー
ンブック憲法(改訂版)』(共著、北樹出版、
2000年)、『コスモス』岩波講座「帝国」
日本の学知1』(共著、岩波書店、2006
年)、『連続討論・「国家」は、いま』(共著、
岩波書店、2011年)、『憲法判例百選Ⅰ、
Ⅱ』(共編、有斐閣、2007年)、『憲法の争
点』(共編、有斐閣、2008年)など。

(終了予定) 14:45

懇親会及び123期歓迎会

六稜会館3Fホール

15:00	参加費 5,000円(但し事前払込は4,500円)
	67期(S30卒)以前と、123期(H23卒)の方は、参加費無料です。
(終了予定) 16:30	幹事期:92期
	【お願い】ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください。

六稜会報
No.57

発行日 2011年9月1日
発行責任者 山本雅弘(71期)
編集 六稜同窓会
広報委員会
広報委員長 千種康一(88期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
email.office@rikuryo.or.jp
事務局 平日 10:00~17:00(土・日・祝日は休み)

印刷 株式会社国際印刷出版研究所
〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3丁目11-34
tel.06-6551-6854 fax.06-6551-1259

RIKURYO KAIHO, Journal of the RIKURYO Alumni Association of Kitano High School



CONTENTS

- 02 会長挨拶
- 03 名誉会長挨拶
- 04 会計報告
- 06 東京六稜会第54回総会で報告
- 08 六稜トークリレー
東京六稜倶楽部
アマゾン
- 09 行列のできる就活相談所
& 若手交流会案内
- 16 国際交流原点を振り返る
- 18 「宮武基金」設立について
- 19 阿部先生を悼む
- 24 同期会予告
- 25 母校の窓

- ・北野高校国際交流
- ・文化活動振興賞受賞によせて
- ・大学合格者・就職者数一覧
- ・教職員移動・六稜文庫・六稜グッズ

事務局だより

Party Reports 1

- 10 観梅会・記念碑の会
- 11 梶井基次郎展御挨拶
- 12 六稜合氣会の発足と活動
- 14 手塚治虫「本」受贈式
六稜ラガークラブ総会
- 15 岡山六稜会第28回総会

Party Reports 2

- 20 64期同窓会のもよう
65期同窓会総会
71期懇話会
- 21 80期同期会(やっとう会)
六稜九二会「知命」同窓会
- 22 第12回シンガポール六稜会
123期新人幹事歓迎会
- 23 期別対抗ゴルフ結果
クラブ対抗ゴルフ案内

57
2011.9.1

六稜会報



▲恩師の人形
あなたは何人…
判るかな?

◀阿部先生近く
書道と合氣道で
お世話になった
卒業生も数多い。
正門の校名は
先生の書。

大阪府立

北野高等学校

“寄ってたかって状態”出発ーそして震災

六稜同窓会 会長 山本雅弘（71期）

“寄ってたかって状態”つくってみませんかーちょうど1年前、この会報に寄せたコメントです。この4月から、その具体的な動きがステップを踏みはじめました。

(1)事務局の新体制がスタート

これまでの、月・水・金週3日オープンから月～金の週5日制になりました。新メンバーは
事務局長 笹川 忠士さん（74期）
事務局次長 久保田 静さん（73期）
〃 藤村 研二さん（76期）
この他に、これまでどおり3人の皆さん。

橋本 淳子さん（76期）
花井 洋子さん（86期）
井上 聡子さん（103期）

(2)学年理事が委員会に所属して活動

原則全員の皆さんが、どこかの委員会に所属して活動をはじめてもらいました。

(3)委員会規程の新設

学年理事の活動スタートに合わせて、総務委員会で委員会活動のルールを新たに設定しました。

(4)会則の改訂

これまで、簡単な会則でしたが、活動の拡充に伴い、改訂が必要になってきました。これも総務委員会の皆さんで作業が開始されました。

(5)諸会合の事務局担当者設定

各サークルOB会、趣味の会等さまざまな会合があり、同窓会館も使用されています。そうした活動の情報を交換したり、より多くの皆さんに参加のチャンスを提供するために、各会合の事務局担当者を設定してもらうことを考えています。現在事務局でリスト作成中です。

ところで、3月11日に発生した東日本震災と津波、そして福島原発事故は、全世界を震撼させ

ました。我々日本人は、日本全体で息の長い支援を覚悟するのは当然ですが、“一地方の復旧”という視点ではなく、“新たな日本列島構築”といった基本的な発想が必要ではないでしょうか。

震災以前にも我が国は外交問題で、気懸りな状態が生れていました。最近の領土に関わる外交交渉です。沖縄基地での対米国、尖閣諸島での対中国、北方領土での対ロシア、竹島での対韓国と、いずれも日本の対応は極めて無惨な状態です。

我が国は、第2次世界大戦敗戦の後、短期間のうちに奇跡とも云える復活を遂げました。しかし、その経済大国への道のりのなかで、肝心のこの国のアイデンティティーを見失ない、確固たる「国家観」を持ってない状態に陥っています。領土問題に限らず国際社会における日本の対応の“弱さ”“あいまいさ”“ぶれ”といったものは、こうした状況に起因しているのではないのでしょうか。

そしてそこへ東日本大震災が発生しました。まさに“内憂外患”と云えます。今こそ国民ひとりひとりが、この国を見つめなおし、何をなすべきかを考える時だと思えます。

私たち六稜同窓会も、支援活動を始め、皆さんからの義援金を先日、大阪府と日本赤十字社に送りました。大阪府へは、「大阪府に避難されている人達のために」という目的を設定したものです。被災地が復興するためには、これから長い時間と莫大な資金と、明確なビジョンが必要です。そして、それらすべての出発点は、ひとりひとりの志と一歩踏み出す行動にあると思います。私たち六稜人も、そんな想いで東日本大震災に向き合い続けたいものです。



校長に就任して

大阪府立北野高等学校
六稜同窓会 名誉会長

校長
楠野宣孝



六稜同窓会の会員の皆様には、平素より母校の教育活動への深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

本年4月より、前任の八尾先生の後を受け校長を勤めさせていただいております楠野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。校長として勤務をするのは大阪府立四條畷高校に続いて2校目となります。これまで大阪府の旗艦校として、各界で活躍される多くの卒業生を輩出してきた北野高校で奉職させていただくことを大変光栄なことと存じます。

新年度の授業が始まり、ほとんどのクラスの授業を見せていただきましたが、授業内容のレベルの高さや展開のスピードはもとより、生徒たちの学習意欲に満ちた表情や授業終了後の質問する姿勢からも北野高校の教育実践の確かさ、遅しさを感じる事ができました。

また、5月末の校内球技大会や6月初めの六稜祭においては、生徒たちの見事な集中力や何事にも全力で取り組もうとする直向きさを強く感じました。これも伝統に培われてきた、まさに「北野の教育」の発露なのでしょう。

さて、本校は今年度より、大阪府が「豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志を持つ、知識基盤社会をリードする人材を育成する」という目的で設置した進学指導特色校（グローバルリーダーズハイスクール：GLHS）に指定されました。これは、府立高校各校の教育課程や進路指導、特色ある教育活動等の観点から、これまでの教育実践や実績を総合的に判断し、10校（北野、豊中、茨木、大手前、四條畷、高津、天王寺、生野、三国丘、岸和田）を選定したものです。

進学指導特色校は大阪府全域から受験（2月末）ができる文理学科4クラスと、これまでと同様に1学区からの受験（3月中旬）となる普通科4クラスを併置した学校です。普通科では、これまで北野高校が行ってきた教育をさらに充実させた取り組みを進めており、文理学科ではこれまでのSSコース（スーパーサイエンスコース）で行ってきたことを文系にまで広げた教育内容を進めているところです。

本年4月にグローバルリーダーズハイスクールの1期生が北野高校第126期生として入学してきましたが、大変意欲的な生徒が数多く見受けられ、授業をはじめ、部活動や学校行事に積極的に取り組んでいます。文理学科と普通科の生徒たちが切磋琢磨することにより、お互いに高めあうことができるように、教職員が一丸となって日々努めているところです。

先日、本校生の気質を感じさせる出来事がありました。六稜祭の閉会式の校長講評の中で、「みんなの集中力には驚かされたが、さらに自主性をもっと発揮できれば…」と言ったところ、式後に3年生が校長室に来て次のようなことを言いました。

「私たち3年生は先生方に言われる前に、自分たちで考え、企画をして、取り組んできました。自主性が足りないというのは心外です。」

正直、少し驚きましたが同時に嬉しくなりました。そして次のように答えました。

「何事にも自主的に取り組んでいる生徒がいることは当然知っているし、大変嬉しく思う。しかし、君たちから見て生徒が十分に自主性を発揮しているか考えて欲しい。卒業するまでに自らも成長し、また後輩たちも育てて欲しい。」頼もしい生徒たちがいました。

本校生は一人ひとり、大変大きな力や可能性を持っています。北野の教育により、自ら考え、計画し、実行する、心豊かでバランス感覚に富んだ、真の「六稜魂」を持ったリーダーとなるよう全力で育ててまいります。

未曾有の大災害からの復興が遅々として進展しないとの報道に焦燥を覚えながらも、日本中が力を合わせて節電に努める暑い夏となりました。同窓会員の皆様には、さらなるご健勝をお祈りするとともに、引き続きの励ましとご支援をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとう木村市三君

平成18年4月から事務局長をお願いしていた木村市三君（73期）が2月19日に逝かれました。奇しくもこの日は、常任理事会と理事会の開催日であり、この会議で、木村君の3月末退任と、新事務局体制を発表したところでした。奥様からの訃報はまさにその最中に、事務局にありました。

木村君は、発展期の六稜同窓会を、大いなる熱意と行動力をもって支えてくれました。奥様とお二人の子息から「六稜が大好きだったし、自分の役割りに誇りを持っていた」と聞かされました。改めて木村君に対して深く敬意と感謝の意を表したいと思います。ほんとうにありがとう。

会 計 報 告

平成 22 年度 六稜同窓会一般会計決算報告			
自：平成22年 4月 1日		至：平成23年 3月31日	
(円)			
科 目	平成22年度予算	平成22年度決算	備 考
収 入 の 部			
1 入会金収入	960,000	969,000	323名×3,000
2 年会費収入	21,000,000	19,318,500	6,449名
3 総会費収入	800,000	743,000	
4 寄付金収入	0	153,000	
5 利息収入	0	1,119	
6 会館維持協力金	1,000,000	447,100	
7 同窓会記念品等売上他	300,000	592,719	
収 入 合 計	24,060,000	22,224,438	
支 出 の 部			
1 運 営 費	12,650,000	11,710,736	
(1)事務局費	6,800,000	5,482,216	
(2)旅費・交通費	1,000,000	1,064,560	
(3)通信費	450,000	397,305	
(4)印刷・事務用品費	1,200,000	1,161,694	
(5)什器・備品	100,000	533,400	
(6)会議費	100,000	69,785	
(7)総会費	1,100,000	1,285,948	
(8)慶弔費	400,000	252,000	
(9)会費払込手数料	800,000	880,344	
(10)同窓会記念品制作費	200,000	30,187	
(11)雑費	500,000	553,297	
2 広 報 費	6,900,000	6,159,206	
(1)WEB関連費	600,000	653,130	
(2)会報発行関連費	5,800,000	5,317,076	
(3)広報全般経費	500,000	189,000	
3 全国大会等出場援助費	200,000	90,000	
4 各種事業援助費	800,000	494,617	
5 教育環境整備援助費	1,000,000	1,000,000	
6 同窓会館関連費	2,200,000	1,908,069	
(1)什器備品・設備費	200,000	229,700	
(2)光熱費	1,300,000	1,191,169	
(3)設備管理費	700,000	487,200	
7 予 備 費	310,000	0	
支 出 合 計	24,060,000	21,362,628	
本年度収支差額	0	861,810	
年会費前年前受	△ 8,457,000	△ 8,457,000	
次年度年会費前受	8,500,000	8,590,500	
前年度繰越金	5,918,476	5,918,476	
次年度繰越金	5,961,476	6,913,786	

以上の通り平成22年度一般会計報告を致します。

平成23年 4月18日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
上記一般会計報告は正確であることを認めます。

平成23年 4月18日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成 22 年度 六稜同窓会基金会計決算報告		
自：平成22年 4月 1日		至：平成23年 3月31日 (円)
科 目	決 算	摘 要
収 入 の 部		
1 利息収入等	8,707	
収 入 合 計	8,707	
支 出 の 部		
1 残高証明手数料	420	
支 出 合 計	420	
本年度収支差額	8,287	
前年度繰越金	22,366,429	三井住友定期・普通預金・りそな定期・郵便貯金
次年度繰越金	22,374,716	

平成 23 年度 六稜同窓会一般会計予算	
平成23年 4月 1日 (円)	
科 目	平成23年度予算
収 入 の 部	
1 入会金収入	960,000
2 年会費収入	21,000,000
3 総会費収入	800,000
4 寄付金	0
5 利息収入	0
6 会館維持協力金	700,000
7 同窓会記念品等売上	300,000
収 入 合 計	23,760,000
支 出 の 部	
1 運 営 費	13,050,000
(1)事務局費	7,800,000
(2)旅費・交通費	1,000,000
(3)通信費	450,000
(4)印刷・事務用品費	800,000
(5)什器・備品	100,000
(6)会議費	100,000
(7)総会費	1,100,000
(8)慶弔費	400,000
(9)会費払込手数料	900,000
(10)同窓会記念品制作費	100,000
(11)雑費	300,000
2 広 報 費	5,750,000
(1)WEB関連費	650,000
(2)会報発行関連費	4,800,000
(3)広報全般経費	300,000
3 全国大会等出場援助費	200,000
4 各種事業援助費	700,000
5 教育環境整備援助費	1,000,000
6 同窓会館関連費	2,000,000
(1)什器備品・設備費	500,000
(2)光熱費	1,300,000
(3)設備管理費	200,000
7 予 備 費	1,060,000
支 出 合 計	23,760,000
本年度収支差額	0
年会費前年前受	△ 8,590,500
次年度年会費前受収入	8,500,000
前年度繰越金	6,913,786
次年度繰越金	6,823,286

以上の通り平成22年度基金会計報告を致します。

平成23年 4月18日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
上記基金会計報告は正確であることを認めます。

平成23年 4月18日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成23年度予算は平成23年2月19日の理事会で、平成22年度決算は平成23年6月25日の理事会で承認されました。

お問い合わせは事務局へご連絡ください。

東京六稜会 第54回総会のご報告

林 純一（92期）



東京六稜会第54回総会が、6月3日（金）に開催されました。総勢209名のご来賓、同窓生のみなさんが続々と神保町の学士会館に集い、総会、講演会、懇親会が盛大に行われました。

【第一部 総会】

総会は18時から、今回の幹事学年である92期中川恵子の司会進行で始まりました。最初に、3月の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、全員による黙祷が行われました。続いて、東京六稜会・志甫博会長（66期）から、震災にて被害を受けた方々、今もなお避難生活を送られる方々へのお見舞いの言葉とともに、震災のあと強く心に響いたという3つの言葉のお話をされ「同窓会は年代を超えた絆を強くする機会である」とのメッセージをいただきました。

続いて来賓としてご出席いただいた。楠野宣孝北野高校校長・同窓会名誉会長からのご挨拶をいただきました。本年度から北野高校校長にご就任された楠野校長は、ご着任後にお感じになった北野高校在校生の活躍を、近年で最高レベルになっ

た国公立大学合格実績や、部活動、体育祭への想像以上の熱中ぶり、2日後に迫った六稜祭への集中具合などのエピソードとともに、受け継がれた「六稜魂」の印象を語ってくださいました。

次に、山本雅弘六稜同窓会会長（71期）からは「同窓会は人生のプラスアルファの場」であるというお話があり、最近の同窓会および事務局活動から、この度頂いた多額の寄付、手塚治虫氏の在学時代の作品の寄贈などをご紹介され、今後も「寄ってたかって」現役在校生への支援をしていきたいという力強い宣言がありました。

最後に東京六稜会事務局・黒岩暎一氏（75期）から当期会計報告が行われ、総会は無事終了しました。

【第二部 懇親会】

引き続き「生物多様性って何？」というタイトルで、92期・中井克樹氏の講演が行われました。中井氏は、滋賀県立琵琶湖博物館研究部の専門学芸員として活躍中で、昨年10月に名古屋で行われた「生物多様性条約締約国会議」（COP10）の中でも



東京六稜会
志甫博会長



六稜同窓会名誉会長
楠野宣孝校長



六稜同窓会
山本雅弘会長



東京六稜同窓会
黒岩暎一事務局長



六稜同窓会
笹川忠士事務局長

「多様な主体による防除、産業との調和、非意図的導入との戦い・多様な主体の三角による防除の事例」というテーマで、ユニークなワークショップを行っています。



中井氏自身の虫好きだった少年時代、水泳部だった北野高校時代の思い出から始まった講演は会場の笑いを誘いながらも、次第に「生物多様性の危機」という人間にとっても重要で緊急性の高い話題へと移っていきました。一貫して語られたのは「自然や生物とのつきあい方を考え直してみよう」という身近な主題であり、時に人類という「種」も例えに用いながら、わかりやすく、人間が気づかないうちに生物の地域性や多様性に影響を及ぼし、種の絶滅に関わっているという状況が伝えられました。

中井氏自身の虫好きだった少年時代、水泳部だった北野高校時代の思い出から始まった講演は会場の笑いを誘いながらも、次第に「生物多様性の危機」という人間にとっても重要で緊急性の高い話題へと移っていきました。一貫して語られたのは「自然や生物とのつきあい方を考え直してみよう」という身近な主題であり、時に人類という「種」も例えに用いながら、わかりやすく、人間が気づかないうちに生物の地域性や多様性に影響を及ぼし、種の絶滅に関わっているという状況が伝えられました。



講演内容

【第三部 懇親会】

19時半からは、隣の広間に場所を移し、懇親会が催されました。最初に笹川事務局長から開会にあたり、コミュニケーション、コンセンサス、コラボレーションの3つのCを大切にして、今後の同窓会運営を行っていくとのご挨拶がありました。

続いて、今回で出席いただいた同窓最高齢者である小林富美彌氏（52期）から高らかに乾杯のご発声を頂きました。



小林富美彌氏による乾杯

会場のあちらこちらで久しぶりの再会を喜び歓談で盛り上がる中、懇親会のメインイベントとしてラテン歌手、作家、ジャーナリストとして多方面で活躍されている八木啓代さん（92期）のミニ・



コンサートが始まりました。八木さんは、現在メキシコと東京に居を構えて、日本と中南米を往復しながら歌手活動を展開されています。今回もその美しい歌声で、懇親会会場を沸かせてくれました。

再びの歓談の後、今年度から新たに加わった122期の新会員4人の紹介が行われました。浅上陽平さん、小川泰子さん、木下祐輝さん、福井恵莉薫さんたちから、近況の報告がされました。また、恒例の若手アワーとして、7名からのスピーチがありました。

引き続き、今回幹事を担当した92期羽田野達夫代表から、次の幹事となる93期への引継ぎ式が行われました。93期の面々がステージに上がり、代表の小国敏和さんがたすきを受け継ぎ次年度への決意を語りました。

最後は、92期応援団、粉川保啓さんのリードによる全員の校歌合唱で第54回東京六稜会は無事締めくくられました。

次回は、2012年6月1日（金）同じく神保町、学士会館で開催の予定です。今回も、東京六稜会志甫会長はじめ常任幹事、事務局の方々のご指導・ご支援、また六稜会会員の皆様からの多くのご支援をいただきましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



92期応援団粉川保啓氏のリードで校歌合唱

日 時★原則、毎月(第1)土曜日
 13:30開場 14:00開演(約2時間)
 会 場★六稜ホール(六稜会館3F)
 ※1Fロビーも同時使用可
 会 費★500円(お飲み物を準備しています)
 主 催★六稜同窓会
 共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など



毎月(第3)水曜日★日 時
 11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
 ライオン銀座クラシックホール★会 場
 (銀座ライオン7丁目店6F)
 2,000円(ランチバイキング付)★会 費
 東京六稜会★主 催
 山元一夫@64期 / 松本邦宏@70期★事務局



第87回 岡田春夫さん@84期
 (岡田春夫総合法律事務所所長、弁護士)
 「納豆文化vsポップコーン文化」～契
 約観および訴訟観の国際比較とその
 背後にある文化、言語の相違について

2日 7月 20日
 July

第103回 堤 興亞さん@71期
 (元住友建設常務取締役)
 「海外工事・こぼれ話」



第88回 中原充雄さん@60期
 (旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会会員)
 「旧真田山陸軍墓地～都心に眠る
 近代遺跡」◇1階ロビーにて併
 設展示会開催◇

6日 8月 17日
 August

第104回 木下 健さん@79期
 (東大教授)
 「海洋エネルギー利用の世界と日本の
 現状」



第89回 矢守克也さん@93期
 (京都大学防災研究所 巨大災害
 研究センター教授)
 「巨大災害に備える/巨大災害か
 ら立ち直る」

3日 9月 21日
 September

第105回 松本邦宏さん@70期
 (元労働省役人)
 「役人生活30年、天下り5回」



第90回 山本智英さん@70期
 (山本内科院長)
 「脳科学のトリビア、オードブル
 式プレゼンテーション」

1日 10月 19日
 October

第106回 家 正則さん@80期
 (国立天文台教授・研究連携主幹)
 「すばる望遠鏡で見る宇宙の一番星」

第91回 菅 正徳さん@69期
 (日本フェース株式会社代表取締役)
 「北野同窓会への提言」◇冒頭に吹奏楽部
 の演奏があります◇

5日 11月 16日
 November

第107回 講師未定

第92回 壇 須寿雄さん@69期
 (元大阪ガス専務取締役・APEC環境技術
 協議会座長)
 「日本のエネルギー問題(仮題)」

3日 12月 21日
 December

第108回 講師未定

ご存知ですか？



一度、六稜Webを経由して amazon.co.jp でショッピングをした場合、購入代
 金の数%が Amazon 社から六稜同窓会へ寄付されます。
 本を売価で買って、著者を応援し、同時に母校への還元にもなる……ちょっと
 「いい気分」なプログラム。ぜひ、ご協力ください!! (書籍以外の商品もすべて
 有効です。) <http://rikuryo.or.jp/books/amazon-associate/>

いますぐクリック→



11月12日(土)行列のできる就活相談所&若手交流会開催

毎年恒例になりました『行列のできる就活相談所&若手交流会』を今年も開催します。
 他のところではつくることのできない、六稜ならではのつながりを大切にしたいと始まったこ
 のイベントももう5回目になります。

今年は著名な先輩の講演も予定しています。ぜひご参加ください!

就活相談所 2011

- 対象：就活中の六稜生
 転職希望者も!
- 場所：北野高校多目的ホール
- スケジュール
 13:30～14:00
 著名な六稜人による講演(予定)
 14:00～15:15
 グループワーク



若手交流会

- 対象：100期以降の卒業生
 社会人・フリーター・主婦、大歓迎です。
- 場所：六稜会館3階 六稜ホール
- スケジュール
 13:00～13:30
 著名な六稜人による講演(予定)
 13:30～15:15
 若手交流会



合同イベント

- 対象：100期以降の六稜生
- 場所：六稜会館3階 六稜ホール
- スケジュール 15:30～17:30 社会人・学生交流イベント

就活相談所では、毎回なんらかのテーマがあり、
 就職する自分の姿が想像できるような企画になっ
 ています。参加者からは「普通の説明会では聞け
 ないざっくばらんな話が聞けた!」「普段聞きに
 くいことも北野の先輩だと聞きやすかった!」と
 いった声が毎年聞かれます。さらに、合同イベン
 トに参加することで、「志望職種以外の職種にも
 興味を持った!」という声も聞かれています。
 若手交流会は、働き始めてから仕事以外の人との
 交流が少なくなる社会人やなかなか様々な分野の
 人との交流がしにくくなる主婦を対象に、なんでも
 気軽に話せる場を設けようと始まりました。久し
 ぶりの旧友との再会があったり、初対面の先輩、
 後輩とも学生時代に戻ったように話せたり、と好

評です。さらに、就活相談所に参加した学生とも
 交流する場が設けられ、「今の学生がどんなこと
 を考えているのか詳しく聞けて刺激を受けた!」
 との声も上がっています。

【FR委員会主催のイベント】

六稜WEBサイトでは、FR委員会主催の様々
 なイベントの開催報告を公開しています。
 「行列のできる就活相談所&若手交流会」の
 最新情報は六稜WEB上で確認ください。
 就活相談所・交流会、合同イベント、それぞ
 れ単独での参加も可能です。エントリーは六
 稜WEB上で受け付ける予定です。
 お問い合わせ先: fresh@rikuryo.or.jp

Party Reports 1

●六稜観梅会

同窓会事務局



2011年2月23日、4月上旬の陽気と云う好天氣に恵まれて、恒例の観梅会が大阪城公園内の梅林にて開催されました。ご承知の様にこの梅林は六稜同窓会が母校創立100周年記念事業として、1973年（昭和48年）大阪城内に880本（44種類）の梅林を造成して大阪

市に寄贈したものです。その後40年弱を経て現在は1200本以上に増えております。今年は冬の厳しい寒さの為か、見ごろには約10日程早いとの事でしたが、11時の集合時間前から皆さん思い思いにお気に入りの梅を観賞の後、記念碑前にて記念撮影。そして、徒歩組とタクシー組に分かれてパーティー会場のKKRホテル大阪（豊国神社南側）に移動。いつも使用していたロードトレインが運休していた為に、急遽タクシーでの移動となりました。

パーティーは大阪城全体を眺望出来る14階オリオンの間で、12時半から14時まで和やかな雰囲気の中で行なわれました。山本雅弘会長(71期)の開会の挨拶に続き、最長老の牛田晴夫さん(46期)が乾杯の音頭を取って下さいました。各テーブルでの写真撮影や、久々の出会いの会話に大いに盛り上がる中、会も終わりに近づいたところで、山本会長より2月19日の常任理事会で承認された4月1日からの事務局新体制が紹介されました。2月19日に急逝された木村市三氏の後任には74期の笹川忠士氏が就き、1人増員の6名体制で週3



日から週5日オープンとし、六稜同窓会会員の皆さまにいつでも寛いで憩える同窓会館にしていきたいとお話でした。

最後にいつも通り校歌を一番から五番まで斉唱して、散会となりました。

今回は46期から76期まで90余名と、多くのご参加を頂きました。来年は2月22日（水）に開催致します。より多くの方のご参加をお待ちしております。

●北野中学校跡 記念碑の会

同窓会事務局

2011年4月20日（水）11時より中津の大阪府済生会中津病院正門前庭の”北野中学校跡 記念碑”前にて、「記念碑の会」が執り行われました。季節はすれの天候にもかかわらず、23名の会員の皆さまが参加されました。記念撮影の後全員で校歌を斉唱し、その後十三のホテルでの懇親会では歓談の楽しいひとときを過ごして頂きました。懇親会の乾杯の音頭は



出席者で最長老の46期牛田晴夫先輩にとって頂き、恒例の歌をご披露して貰いました。「青春一杯秘めた 記念の日 秘めた歴史が 呼び掛ける」

尚、現在の同病院長である83期川嶋成乃亮さんも、お忙しい中顔を出して下さいました。

来年も創立記念日にあたる4月20日（金）に開催する予定をしております。

●梶井基次郎展の御挨拶

三島 佑一（60期）

梶井基次郎は本校（旧制北野中学）の32期、大正8年（1919）卒の大先輩である。

ただし父が同い年の妾の子を同居させ、進学させず丁稚奉公に出したのに反発、中途退学して一年間丁稚奉公に出たことがある。当時は中学へ行くだけでもエリート、まして府立一中の北野ともなれば、小学校を出て働いている丁稚たちとの住み込み生活は、様々の精神的葛藤の渦を受け、彼の感性を一層鋭敏繊細にしたと思われる。

それと結核、死と絶えず向きあったこと。より“煙の都”大阪に背を向け、大阪の俗を嫌い、同郷の先輩作家川端康成を慕って伊豆湯ヶ島に行き、清澄な溪谷の自然の中で自己を、生きとし生けるものを見つめぬき、常人の至り得ぬ心境小説を生み出した。

彼の文学碑は鞠公園のバラ園南西角の裏、なにわ筋から入った正面にある。その近くに家があり、今の済生会病院にあった北野中学まで通った。

びいどろと云う色硝子で鯛や花を打ち出してあるおはじきが好きになったし
南京玉が好きになった またそれを嘗めて見るのが私にとって何ともいへない享楽だったのだ あのびいどろの味程幽かな涼しい味があるものか

京都を舞台にした代表作『檸檬』からの引用であるが、大阪で育った幼少期の追憶の一節が刻まれている。

彼と対比される大阪の作家として、高津中学（現高津高校）出身の織田作之助がいる。一まわり下の丑歳で、同じく旧制第三高等学校に学び、結核に冒され、彼より二歳長く三十三歳の若さで夭折した。

が、織田作之助は二十代で流行作家になり、新聞小説連載も始め、死後、二段組全集八巻を出している。

梶井基次郎はわずか二十編の小説を同人雑誌に、死の直前『のんきな患者』が商業誌に載るに至ったが、全集は一段組で最初二巻、次に三巻、最近四巻になったほど。

織田作之助の代表作『夫婦善哉』その他は映画や演劇にもなり—『夫婦善哉』の脚本を書いたのは梶井の一年下・33期の八住利雄であり、有名

な「おばはん頼りにしてまっせ」のせりふは原作ではなく彼の創作したもの。その主人公柳吉を演じたのは、先年文化勲章を受章した45期の森繁久彌であり、また今も健在の映画評論家で詩人の44期の杉山平一は若くから織田と親しく、「夜学生」の詩の一節「スプリング ハズ カム ウインター イズ オオバア」は小説『船場の娘』の始めと終わりに採り入れられているほど。本校先輩が織田作之助の文学を下支えしているともいえる。先年もそごう劇場で没後六十年記念映画やシンポジウムが開かれ、オダサクラブは毎月開かれている。

梶井基次郎は生誕百年記念の展示やフォーラムが大阪市立中央図書館で開かれたものの、年一回三月二十四日の檸檬忌にひっそり十数人が集まるだけ。

しかし梶井文学の評価は断然高く、「心の闇を追求」とか「自己の頹廃への徹底した凝視」とか「絶望への情熱」とか、数々の梶井基次郎論が出され、今も「高校の教科書に毎年掲載されているのは彼の作品だけ」といわれるほど。

それだけ梶井文学は屹立し、孤高ともいえるが、その真価を本校同窓がまず認識し、賞揚し、もっと広く彼の研ぎ澄まされた感性を学ぶよう務めねばならないと思う。



●六稜合氣会の発足と活動について

六稜合氣会会長 黒岩 暎一（75期）

—阿部俊一先生を偲んで—

北野高校合気道部は、昭和36年に書道の教諭を務められていた阿部俊一先生の指導を賜り、同好会の形式で開始された。昭和39年に正式に合気道部として活動を認められ、今日に至っている。本年3月に合気道部を卒業した部員は第47代となる。このように長い歴史のある部であるが、正式な合気道OB・OG会はなかった。同好の士がいろいろな機会に集って交歓していた。

偶々、平成22年6月19日の東京六稜総会場で111期の3名の合気道部OB（塚本渉、山田昌輝、安藤勝利氏）が合気道部のOB・OG会の発足を呼びかけられた。その場にいた黒岩（75期）、西田（81期）が賛同し、それぞれのツテでOB・OGに呼びかけることになった。

そして、平成22年9月29日に初会合を持ち8名が出席した。北野時代の様々な合気道にまつわる思い出を披露しあって賑やかな交歓となった。

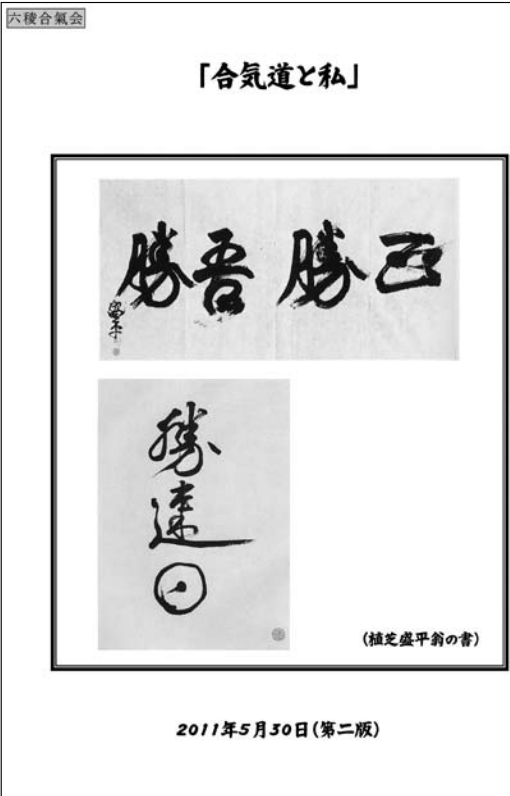
・阿部先生、植芝先生、合宿、宝殿、岩間の合気神社、先輩、後輩、・・・

今後とも継続して、合気道部OB・OGとして親睦を図っていくための場・機会をつくろうと意見が一致した。

出席者全員が発起人となり、六稜合氣会として発足し運営役員を選任した。

（発起人）

- 1、黒岩暎一（75期）会長
- 2、西田美博（81期）副会長
- 3、丹羽達雄（82期）
- 4、水戸川正美（83期）幹事
- 5、中川文夫（83期）
- 6、安藤勝利（111期）
- 7、塚本 渉（111期）幹事・事務局
- 8、山田昌輝（111期）幹事・事務局



六稜合氣会はまず、OB・OG名簿の作成、定期的な場を設ける、交歓する、会誌を作成する、六稜ホームページ（クラブOB・OG会）に活動を紹介することから始めている。

第2回会合：2010年12月20日：出席10名

（出席者）

黒岩（75期）、西田（81期）、丹羽（82期）、浦田（82期）、岡本有美子（88期）、岡本さんのご主人、高杉（107期）、安藤（111期）、塚本（111期）、山田（111期）

第3回会合：2011年5月30日：出席8名

（出席者）

黒岩（75期）、西田（81期）、水戸川（83期）、中川（83期）、田中真理（83期）、難波（84期）、阪中（89期）、山田（111期）

第4回予定：2011年12月12日午後7：00より

場 所：ライオン銀座7丁目店2階特別室
（<http://r.gnavi.co.jp/g131800/map/>）

連絡先：111期塚本渉、山田昌輝

（prost_masabon@yahoo.co.jp）

北野高校合気道部を卒業したということは何を身につけたことになるのであろうか。

北野高校を卒業するということは、一流の学業に加えて、伝統ある校風の中で醸成された六稜精神を身につけたということにほかならない。天高戦などの応援席で幟に書かれた「六稜魂」である。飽くまで高さを求め、誰かがみていようといまいと、報酬が高かろうが安かろうが、自分の考えを持ち、自分の心の求めに応じて生きていく精神と教わった。

合気道部のOB・OGになったとはどういうことか。六稜精神に加えて、道主植芝盛平翁の合気道を直接受け継がれた阿部俊一先生（十段師範）の指導を受け、単なる技（ワザ）だけではなく合気道の精神的な真髄に触れることができたということである。植芝大先生の存命中は直接の指導を仰ぐ機会もあった。北野高校ならではの幸運であった。

合気道は植芝盛平翁（1883－1969年）が開祖となる新しい武道である。柔道の嘉納治五郎（1860－1938年）とも交流があり、時代も重なる。そのためか、しばしば合気道と柔道は比較される。

オリンピックの種目になった柔道と比べるとスポーツ性（勝ち負け）が低く、型式稽古の故か残念ながら一般的な知名度は低いかも知れない。しかし、合気道もすでに国際的な普及が進んでいて世界各地に多くの道場、外人の指導者（師範）も数多く輩出している。フランスのパリだけでも100軒以上の道場が開かれている。日本人の師範は、世界各地の警察などからひっぱりだこの状態で、世界からの招聘に応じて活躍されている。阿部先生もアメリカ、フランス、ペルー、シンガポールなどへ指導に出かけられたとお聞きしている。

柔道はニュートン力学的、科学的であるのに比べて、合気道は量子力学的、神秘的と称される。柔道は「柔よく剛を制す」であり、合気道は「呼吸法と気」である。「気」とは特別なものではなく自然に存在しているものである。山の気、森の気、海・川の水の気、空気の気などである。そして、人間にも生まれた時からその気が備わっている。「お腹が痛い」という子に母親が手でさすると痛みが治まる治療力であり、「火事場の馬鹿力」などである。合気道はこの本来備わっている力を鍛練により火事場でなくてもいつでも出せるようにするものである。

北野高校合気道部を卒業したとは、神技のような合気道に触れ植芝大先生・阿部先生から合気精

神を学んだことにほかならない。それは、次の言葉に代表される精神である。

○眼作胆力（がんさたんりき）

力（腕力）をいかに鍛えても、胆力（気）を鍛えたものには敵わない。

いかに胆力を鍛えても作（わざ）を鍛えたものにはヒョイと投げられてしまう。

あまたの作（わざ）を会得しても、人間を鍛えた人（眼）にはひとにらみで倒されてしまう。

武道を鍛練することは人間（眼）を磨くことである。

○正勝吾勝勝速日（まさかつあかつかつはやび）

正勝：正しい行いをしている人が勝つ。悪いことはしてはならない。

吾勝：他人に勝つより自分（吾）に勝つ方が難しい。自分に勝てれば他人に勝てる。

勝速日：日（時間）の速さに勝つ。ぐずぐずと無為に過ぎない。

日（光り）より速く動ければ勝てる。

平成23年5月18日に阿部俊一先生は96歳の天寿を全うされた。その生き方は六稜精神と合気精神の両方を体現されたように思えた。ご冥福をお祈り申し上げると同時に、北野高校合気道部のOB・OGとしてお教え頂いた合気道精神を伝えていくことをお誓い申し上げる次第である。



●手塚治虫“本”の受贈式

同窓会事務局



▲ 目録受贈



▲「昆虫の世界」第2号

2011年5月7日（土） 六稜会館3階ホールで開催された講演会トークリレーの冒頭に、59期林久男さんから北野中学同期の手塚治虫さんと一緒に制作された「動物の世界」（1・2号）と「昆虫の世界」（1・2・3・4・8・9・10・11号）合計10冊が六稜同窓会の方へ寄贈され、山本会長から感謝状が手渡されました。これらの冊子は下記林さん講演会のお話にもある様に、氏にとっては思い出深く、かつ貴重なものです。しかし、ご自身で保存しておくよりも同窓会に寄贈して皆さんに見て頂きたいと、林さんの強いご希望があり、このたび実現致しました。60年以上の長い年月が過ぎ、すべてが手作りの為若干の傷みがありますが、整備が出来た後には皆さんに公開する予定です。

2003年7月27日の講演会での林さんのコメント抜粋
『北中でのクラブ活動については、最初「地歴班」に所属するも、テーマが広すぎて飽きたらず、魚類に興味のあった今中君（銘屋「鶴屋八幡」の御曹司、今中宏氏）と3人で「動物愛好会」を

結成し、機関誌『動物の世界』を発行したこと（ちなみに今中君の祖父が、後の手塚キャラクターのひとつ「ヒゲオヤジ」のモデルである）。その後、今中君が抜け「六稜昆虫研究会」と改称し、機関誌『昆虫の世界』を発行したこと（11号まで刊行。戦火を免れるために半分ずつ保管したが、手塚君の保管分は度重なる移転の際に消失。林氏の保管分のみが現存する）。』

●六稜ラグークラブ総会のご報告

榎井貞次（101期）



総会前の練習に集まったOB

現役支援を第一義に

7月9日（土）に六稜会館3階ホールにて総会および懇親会が開催されました。

総会に先立って顧問より現役の現況が報告された後、現役部員の紹介が行われました。今年の新入部員は経験者1名を含め2名にとどまり部員総数は13名。今年も合同チームでの大会参加となりますが、その中で、部員たちは合同チームのレギュラー獲得や技術の向上などそれぞれ一言抱負を述べました。また楠野宣孝校長よりのご挨拶が、川本先生により代読されました。

総会は、東京から駆けつけた63期勢川氏や九州から駆けつけた91期三浦氏も含め50名以上の参加があり、藤村副会長（76期）の司会のもと開会しました。冒頭、自見会長（70期）は、「再来年に創部90周年を迎えるが、ここはひとつの通過点として100周年をめざしていきたい。そのためにもOBが一丸となって部員集めに協力していかねばならない」と挨拶しました。

その後、役員案、平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び決算が審議され、原案通り承認されました。今年度の事業計画として

は、現役の人数不足解消のための支援活動として中学校招待ラグビーの定着や勧誘DVDの更新、定期戦にあわせた現役との交流、OBチームの組織化、平成25年の創部90周年のための準備委員会の設立などがあげられます。これらを実行していくにあたって、梅本幹事長（89期）は、OB会の活動の第一義は現役の支援であり、このスタンスを間違わないようにして活動していきたいと述べました。



展示ギャラリー

優勝ペナントの展示

花園出場を決めた1987年度・第67回全国大会大阪府第一地区代表の優勝旗に付けられていたペナントが、大阪府より学校に返還され、参加者に披露されました。なお、このペナントは六稜会館B1Fの展示ギャラリー入口の壁に、当時の写真やポスターなどと共に展示されていますので、ぜひご覧ください。

ラグビー部ホームページについて

ラグビー部ホームページでは、月2回更新を行い、現役の試合の結果報告をはじめとした情報発信を行っております。こちらでもぜひご覧ください。

URL : <http://www.kitano-rugby.net/>

●「岡山六稜会」第28回総会および懇親会報告

足立富郎（82期）

「岡山六稜会」第28回総会および懇親会を平成23年6月25日（土）、新しく就任された六稜同窓会事務局一笹川忠士様（74期）をお迎えして、メルパルク岡山（北区桑田町）で開催しました。当日は梅雨の合間で少し蒸し暑かったようです。

さて、この度、「岡山六稜会」の名簿を刷新し、西隣（新幹線で17分）の福山市在住6名を新に追加して61名の方に案内状を送付したところ、25

名（男性19名・女性6名・学生7名）が出席されました。今年に限って諸事情で欠席された方は12名（福山市内3名）おられました。会場では、DVD「六稜魂その他」を鑑賞しながら出席者の近況報告を拝聴しました。

出席者の年齢構成は55期（S17卒）から123期（H23卒）までと幅広く、若い年代層との触れ合いを楽しんでおりました。また、六稜同窓会からは、六稜グッズ（Tシャツ・ハンカチ・DVD・金属製菓）を多数いただきました。二次会は13名でした。

今年は東日本大震災・大津波そして未だに収束しない原発事故・放射能漏れと自然災害が起り、経済も低迷しています。このような時にロータリー・ソング「四つのテスト（真実・公平・好意と友情・みんなのために）」を思い起こし、坂本九の「上を向いて歩こう・すき焼ソング」を歌いながら「好意と友情」の輪を広げたいものです。

岡山県は「晴れの国」です。天候に恵まれ自然災害も殆んどありません。果物（マスカット・ピオーネ・桃）は有名です。中国四国一の農業県であり、食料自給率が全国で40%（2006年）である中で、「地産地消」を目指しております。また、県中部・北部には古い美しい日本の象徴である「棚田」が今も残っています。一方、瀬戸内海に目を向けると、そこには美味しい魚介類が豊富に獲れます。東西から海水がぶつかり合う「備讃瀬戸（備後～播磨）」は平均水深16.3m、比重（塩質）が低く、「瀬戸内海の臍（塩堍い）」といわれ、魚介類の産卵場として最適です。「備讃瀬戸」の御三家は、「サワラ」、「ヒラ」と「ママカリ」で回遊魚ですが、岡山のものは「岡山の特産」として扱われています。

来年の総会及び懇親会は、平成24年7月1日（日）または7月7日（土）を予定しております。宜しくお願い致します。



第28回・岡山六稜会 於 メルパルク岡山 H23.6.25(土)

国際交流 原点を振り返る

ー不変の自他共栄の精神ー

松田典子(95期)中嶋明子(106期)

アメリカ合衆国ワシントン州のセントウッド高校との国際交流は今年度も行われ、この春アメリカを訪問した生徒たちの様子が、本誌でも活き活きと報告されています。一方、学校間の継続した交流だけでなく、卒業後の生徒間の交流や互いに与えた影響について興味を持つ声も聞こえます。

この交流も20年を経過した今、きっかけとなったセントウッド高校元校長の故ウィルソン先生と本校柔道部の元顧問篠原先生の出会いを振り返り、これからの国際交流を考えてみてはいかがでしょうか？

【篠原先生の渡米】

平成2年3月、全国高等学校体育連盟柔道部の派遣により、篠原先生はアメリカのセントウッド高校で柔道を指導する機会を得られました。セントウッド高校校長のウィルソン先生は、高校卒業後に入隊された海兵隊で来日され、柔道と出会い、講道館で修業を積まれます。シアトル大学で教育学博士を取得され、

高校、大学教育に関わること36年、その間アメリカで柔道が高校教育のカリキュラムとして認められるようになったのもウィルソン先生の功績です。先生は永くアメリカ柔道委員会の役員に就かれ、柔道六段、種々の国際試合の審判として活躍。モントリオールオリンピックにも参加。その後アメリカ柔道殿堂入りされました。勝敗よりも礼儀を重んじ柔道の指導をされる篠原先生は、勤務先の北野高校が文武両道を目指す大阪のNo.1スクールであると説明します。それを聞いたウィルソン先生は、所蔵していた柔道の創設者である嘉納治五郎師範の最後の書とされる『自他共栄』を、ぜひ北野高校の柔道場に寄贈したい、とすぐに行動を起こしてくださったのでした。

【嘉納治五郎師範の書】(紙面中央の書)

『自他共栄』とは、柔道の基本理念の一つです。相手を敬い、己の技を磨かせてくれた相手に対し感



掲額式の準備をする現役柔道部員

謝をすることによって礼の精神を身につける。それにより、相互を信頼し助け合う心を育ち、結果として共に大きく成長することができる。自分だけでなく、他人も共に栄える世の中を作っていこうということです。

この言葉は、嘉納師範が大正15年に北野中学で講演した時に、すでに国際化と文化について語られ、『相助相譲・自他共栄』と表現され強調された言葉です。嘉納師範は、また次のように述べられています。「社会に在っては個人団体互いに助け合い、譲り合い、徹底した融和を実現せしめるように

心がくべきで、世界に視野を向け人種的な偏見を去り、文化の向上、人類の共栄を画くべきなのである。…わが国民はともすると

自国の優秀さを誇るあまりに、従来ややもすると排他的、利己的な傾向があるが、これを改め外国と共同して文化を促進しなければならない。それには謙虚で、互譲の精神が必要だ。…」今、まさに日本は、国内外に対してこの言葉を必要とし、実践していくときではないでしょうか。世の中が変化しても、常に『相助相譲・自他共栄』の精神を受け継いでいかなければなりません。

【国際交流】

篠原先生の帰国から二カ月たった6月2日、柔道場にて嘉納師範の書の掲額式が、大勢のOB、在校

生が集まる中、厳粛に執り行われました。その後の懇親会の席で柔友会(柔道部OB会)大村皓一会長(68期)は、「ウィルソン先生御夫妻を日本にお呼びしよう」と提案します。その発言が大きな原動力となり、柔友会は実行委員会を立ち上げ、打ち合わせを重ねて翌年7月に、ウィルソン先生御夫妻を日本にご招待することができました。多くの方の協力を得て、歓迎パーティ、大阪、京都、奈良の案内、お別れの会、新幹線の京都駅でのお見送りまで、「Warmhearted」「Open Mind」の精神で御夫妻をもてなすことができました。お見送りの際、幾人もの方がこの交流が今回だけに終わることなく発展していけたら、と感じられたことでしょう。

そして、その思いを実現することになりました。翌平成4年3月に北野高校教員2名が渡米、6月にはセントウッド高校から教員3名、生徒1名を受け入れ、国際交流が始まります。当初は、柔道部部員が行き来していまし

た。そして平成6年の創立120周年記念事業の一つとして、「北野高校国際交流基金」が設けられ、体制が整いま

した。その後20年、国際情勢等を考慮して渡米を見合わせた年があったものの、小さな交流は今も続いています。

【自他共栄の精神】

先のOB総会では、在校生の発案により、東日本大震災で被災した福島県高等学校体育連盟柔道部に支援金を送りました。

柔道をするということは、技を磨いていく中で、精神的にも肉体的にも成長することを目標とし、また心身の力を最も有効に働かせることを目標としています。これは柔道の基本理念のもう一つの柱『精力善用』です。この原理を実生活に生かすことによって、人間と社会の進歩と発展に貢献する、すなわち『自他共栄』を修行目的としなければならない、と説いています。基本姿勢をおろそかにせず、まさしく『自他共栄』の精神に則った行動だといえるでしょう。

【これからの国際交流】

こうしてみると、厳しい国際情勢の中、日本へのオリンピック招致運動に尽力し、国際平和交流に貢献された嘉納師範の胸中を表すかのようなこの『自他共栄』の書が、篠原先生のお人柄によるところが大きいものの、柔友会の精神、行動力を考えますと、現在北野高校柔道場に掲げられていることは、必然であるのかもしれない。

柔道家であり、教育者でもあった嘉納師範の、世界に向けた熱いまなざしを受け継ぎ、いろいろな形で国際社会にお返ししていくことが、求められているように感じます。



歓迎パーティ

単なる思い出作りにならず、どんな些細なことでも、国際交流を通じて現れた自分の中の変化を大切に持ち続け、あるいは育ててほしいと強く願います。そして継続には互いに与え合い、譲り合うことが必要です。それこそが、柔道の精神『自他共栄』に始まった交流の使命ではないでしょうか。

柔道部OBの川畑英雄さん(74期)、福田顧問(83期)、笹川事務局長(74期)には、お話を伺うだけでなく、貴重な資料を提供いただきました。また原稿をまとめるにあたり、多大なアドバイスをいただきました。心から感謝の意を表し、お礼申し上げます。



京都駅でのお見送り

＜六稜柔友会会誌より、転載させていただきました＞

「宮武基金」設立について



故宮武和義氏(72期)のご遺族から100万円の寄贈を受けました。

平成21年6月27日、村方洋治氏(72期)のご案内で、奥様の宮武良子さん、ご長女紀子さんそしてお孫さんの3人が四国より来校されました。そして道場で寄贈していただきました。ご遺族の志を実現するため、本会は北野高校柔道部の発展を目的として宮武基金を設立しました。ご遺族に感謝するとともに基金の有効活用をはかります。



左より村方、速水、立野、宮武各先輩
(1999年写真展にて)



北野高校道場にて
(2009年6月27日)



府民体育祭優勝の盾を
ご覧になる
(2009年6月27日)



右から2番目:宮武先輩
(1958年大阪府民体育祭優勝)

この基金をきっかけに、他のOBからも寄付の申し出がありました。基金により、購入しました。一部をご紹介します。

- 天王寺高校との交流戦の盾、旗(天王寺高校OBの協力を得て)
- プロジェクター

早いもので主人が亡くなり4年が過ぎました。

生前、何時も柔道部の話をしてくれ府民体育祭で団体優勝をした事などは一生の宝物で有り誇りだったと思います。そして六稜柔道の追慕で思い出を書いて下さり、兄と主人が並んだ写真を見ますと胸が熱く成りふたりが情熱を燃やし青春時代を過ごした道場を見たいという気持ちになりました。

先日、念願が叶い見学をさせて頂き本当に嬉しく感激いたしました。これからも後輩の方々が練習に励まれ文武両道で頑張られることを願います。

宮武 良子

●阿部先生を悼む

的井 洋二 (78期)

大阪府立北野高等学校の正門に掲げられている門標は、数年前に阿部先生に揮毫を依頼したものである。1950年から1976年まで、阿部先生は北野高校に勤務され、書道と合気道をもって北野の生徒たちを育てていただいた。その阿部先生がこの5月に亡くなられた。大正4年生まれの96歳、通夜でお別れに拝見したお顔は、あごひげをたくわえ、一生を修行に献げた人そのものであった。

思えば、私が先生と北野高校で初めて出会って、ほぼ半世紀近くたっている。阿部先生にあったことをきっかけにして、教職の道を選び、今、母校で後輩たちを教えていることに縁を感じる。

あるとき、授業中に先生が小刀を出した。それは、鎧を刺し通すことのできる鎧通しであったが、それを親指と人差し指ではさみ、少しずつ刃を下へ下ろしていく。しかし、指は傷ついていない。いったい、何を先生は伝えたかったのだろうか。



私にとっての北野高校の生活は、阿部先生の存在を抜きには考えられない。学校にいる間は、授業以外はほとんど阿部先生の傍らで過ごしていた。いつの間にか書道部で活動するようになったが、昼休みや放課後だけでなく、ブランクの時には書道教室にいた。どんな話をしていた

かは、あまり思い出せない。しかし、いま、振り返れば、さぞ手のかかる迷惑な生徒であったと思う。書道部の部員も多く毎日活動しており、その当時の文化祭は、クラス参加はなく、文化部の発表の場であったが、書道部も多彩な展示をしていた。

阿部先生の書道に対する考え方はわかりやすいものであった。日本人であれば、箸を使う。親指と人差し指ではさんで残りの指で支えた二本の箸のから下の箸を抜いたものが、正しい筆の持ち方になる。親指を押して筆を開けば横の線を引くことができる。親指を引いて筆を開けば縦の線を引く

ことができる。これを聞いて、私が先生の手元を見ていていいですかと尋ねたら、そんなことはしてはいけない、破門だといわれたことがあった。荒げた声をだすこともなく、いつも笑みを浮かべた優しい先生であったが、そんな厳しい一面もあった。よく考えれば、字を直接指で書くのでなければ、間接的に指で握った筆というものを通して書くことになる。さらに、一本のペン先であるボールペンではなく、数百数千本の毛からなる筆で線を引くということは、非常にやっかいな作業になる。そこで、筆に自らの気を伝えるために、阿部先生は合気道を極めようとしたのではないかと、今考えている。それが、先生のあの厳しい線につながるのではないかと。



さらに、師匠の真似をしている限りでは、師匠を超えられないということ、学んだ。私たちが書道に取り組もうと考えたときに、先生は、僕は君たちとは師匠と弟子の関係ではない、僕と君たちは同行者だと

いわれたのが鮮烈な印象に残っている。結局、書道の道には進まず、不肖の弟子であった私であったが、阿部先生の優しい暖かな声は耳に残っている。



Party Reports 2

●64期同窓会のもよう

足立 一郎 (64期)

6月4日(土)1時、大阪、堂島の中央電気倶楽部に77～78歳の老々男女88人が集まった。64期の同窓会。3年おきにやっている。東京方面から10名あまり、長崎、岡山から各1名。

はじめに新会長選出。30年間続けてくれた川本晴男君が昨年逝ってしまったからだ。おざなりの拍手で足立一郎を選ぶ。再登板で替わり映えない。

つぎに64会の今後の運営について①来年が卒業60周年にあたるので、記念大会をしてこれで打ち上げにする②従来通り3年ごとにする、の2案について賛否を問うたところ拍手の大きさは同じくらい。そこで司会の北村英佐子さんの名さばきで幹事会一任となった。

それから昨春秋、文化勲章を受章した脇田晴子さんのスピーチ。部屋の壁には小振りだが「受章おめでとう」の垂れ幕が掛かっている。

だんだんと会場がざわつきだしたところで、槌田敦君が、専門の見地から福島原発事故について「汚染を受け入れるしかない現実」と題して資料に基づきレクチャー。それを受けて銀行出身の山本修滋君が日本経済の成長のためには原子力が必要との見解を披歴。

ほろ酔い加減の司会(男性に替っている)の話が続くなかいつしか宴も終わりに近づき、現役シャンソン歌手(いつまでやるのだろう?)の川島

弘君の指導で校歌斉唱、幹事長岩田江一君の締め言葉で4時半お開きとなった。

●65期同期会総会

岡田 一彦 (65期)



優雅なチェロの音で開会

65期は昭和28(1953)年卒業で全員が喜寿を迎えました。記録によれば418名卒業でしたが、ご他界者もすでに80名を越し、現在連絡可能な同期生は300余名です。このところ総会を毎年開き、5年ごとに1泊旅行総会としています。

今年2011年は卒業58周年で6月25日に大阪リーガロイヤルホテルにて、恩師山崎馨先生、関谷全先生をご招待し、関東、中部、中国、四国からも出席してくれて、117名(男子63名、女子54名)が相集い楽しく賑やかに開催しました。

今年は3月に東日本大震災がありこの総会の開催可否を思案いたしました、こんな時期ならばこそわれわれの活力を示すべしとの判断で開催しました。

また六稜同窓会を経由しての募金に応じて支援金を拠出することに満場一致で決定しました。(後日実行済み。)今年の総会は同期生の佐々木均君のチェロによるウエルカム演奏で幕を開き、優雅な名曲演奏を鑑賞しつつの開会となり、素晴らしい雰囲気の中で終始和やかな総会となりました。

来年の総会は6月23日(土)ホテル阪急インターナショナルにて開催の予定です。

●バラ園に癒されて 71期懇話会

月原 信子 (71期)

2011年5月11日(水)午後3時30分から71期の“2011懇話会”が催され、あいにくの雨でしたが44名が参加しました。この懇話会は、昨年より当番クラスが担当することになり、今年は4,5,6組から各3名選出され、その9名が世話係として、

年初めから毎月一回梅田に集合して、打ち合わせ、計画を練りました。



今回の講話は、柔道部で頑張っていた3年4組の多賀谷美伸さんに「我が世話焼き人生」と題して語っていただきました。

彼は、1991年3月5日にあった信楽高原鉄道の正面衝突事故の際に先頭車両に乗っていて、文字通り九死に一生を得たという運の強さの持ち主で、その時の現場写真等をスクリーンで見事事故の恐ろしさを再認識しました。

また、2004年より「和泉の国ジャズストリート」の実行委員長として粉骨砕身頑張りをまや岸和田の**だんじり**に次ぐ行事に育て上げたという、彼の言葉を借りれば「世話焼き」の充実した苦勞の数々の実例を、これもスクリーンを見ながら聴かせていただきました。

会場は、勝村義和さんご紹介の“アート＆ワイン”ですが、鞠公園のバラ園がすぐ側で、講話のあと、傘をさしながらの鑑賞となりましたが、色とりどりの薔薇が大、中、小と多種多様に咲き競い、雨に濡れた風情に一層癒されました。

そのあと、和やかなワインパーティとなりましたが、セミプロの落語家水野宏之さんの軽快な司会もあいまって、1年振りの旧交や、東京から駆けつけてくれた人たち、或いは、何十年振りに逢う人等々、途切れることのない話しの連鎖で盛り上がりしました。

私たち71期生は、いよいよ全員70歳台に突入しましたので、健康を第一目標とし、愉しく人生を過ごしましょう、来年もお会いしましょうと言って散会しました。

(写真はいつも通り山中幸一さんに撮ってもらっており、バラ園で集合写真を撮る予定でしたが、雨の為叶いませんでした。)

●80期 同期会(やっとう会) 報告

和田 芳郎 (80期)



7月2日土曜日、80期同期会(やっとう会)が開催されました。

会場は、新装なった大阪駅サウスゲートビルのグランピア大阪19階の「しずく」です。東京から参加した数名を交え、総勢49名が、話に花を咲かせました。

2時間くらいでは物足りないということで、1次会と2次会を一括して、合計4時間あまりの宴会を楽しみました。スクリーンでは、昨年の東京での「やっとう会」の様子が映し出されました。

また、毎年恒例の御殿場の保養施設を借り切り、夜を徹しての宴会の様子、それも生バンドをバックにした「カラオケ」ならぬ「生オケ」の様子も映し出されました。御殿場会の主催者、辻孝夫氏から、「今年は、10月15、16日に開催するので、雄大な富士山を見ながら宴会を楽しみましょう。」とお誘いがありました。(実は、あの3月11日の翌日が開催予定日だったので延期になっていました)

まだまだ現役で働いている人、悠々自適の人、孫や親の面倒を見ている人など、現在の立場はそれぞれ違っても、一堂に会せば、にぎやかなことこの上なし。そして、宴はあつという間に過ぎていきました。

来年度の幹事は陸上部の面々が引き受けることになり、近藤隆士氏が委員長に推され、「来年は、もっともっと人数を増やして、この会を盛り上げましょう。」という締めくくりの言葉で、宴会はお開きとなりました。

●六稜九二会「知命」同窓会

住山 真一郎 (92期)

昨年の卒業30周年記念同窓会に引き続き、92期生(昭和55年卒)は、平成23年7月2日(土)



撮影:フォト・アート社
山口茂君(64期)

大阪第一ホテルにて、「50歳」の同窓会を行いました。

今回、呼掛けから開催まで期間が短かったにもかかわらず、60余名の同期生が集り、それぞれの近況を語り合うなど楽しい時間を過ごしました。

今年は92期生が、六稜同窓会総会の世話役の当番にもあたることから、参加者みんなで、10月30日(日)の総会への参集を約束し合いました。今回の同窓会に残念ながら欠席された同期生の皆さんも是非、母校で行われる総会で再会しましょう。



●第12回シンガポール六稜会

大木 賀 恵 (106期)

2008年3月に発足しましたシンガポール六稜会は、今年に入って丸3年を迎えることができました。当会是一般的な同窓会にくらべ、アットホームな雰囲気です。3ヶ月に1度という高い頻度で、幅広い年代の同窓生が集うのが大きな特徴といえます。シンガポール在住の方、既に帰国された方、或は他国へ異動された方を含め、今年6月現在のメンバー数は延べ22名となりました。メンバーの年齢層は、71期から106期までとなっております。

東南アジアや仕事に関する話題に始まり、長年教鞭を執られてきた恩師の先生方、旧校舎と新校舎、体操服と水着の色、女子の縄跳び等々、様々な話題を10人前後というコンパクトな規模で自由に語り合えるところが、この会の醍醐味のひとつといえます。ただ今回は、水着の色に関して74期の先輩から「何の事？」というご指摘がありました。カラー水着の導入がいつ頃だったのか、この点は今後明らかにすべき課題です。

このように、同じ学び舎で高校時代を過ごした様々な世代の同窓生と、人生の異なるステージに

おいて異国で集えることに、北野の不思議な繋がりを感ずります。そしてこの繋がりをもっと広げていくことがシンガポール六稜会の設立当初からの目標でもあります。

東南アジアのビジネス拠点と知られるシンガポールですが、インドネシアやマレーシアなど、近隣諸国からは大変アクセスしやすくなっております。今回はジャカルタ在住の内村君(106期)の参加により、いつにも増して活気のある会となりました。日本や近隣諸国からの飛び入り参加大歓迎です。当地へお越しの北野生の皆様からのご一報を、心よりお待ちしております(連絡先:白石 yumi_san333@hotmail.com)。

以上、手短かながらシンガポール六稜会の近況報告とさせていただきます。



写真

後列左より 富嶋(80期)、山口(87期)、櫛部(74期)、出原(97期)、内村(106期)。前列左より 白石(90期)、大木(106期)、出原(旧姓:高橋、97期)、内村夫人。

●123期新人幹事歓迎会について

森 川 瑛 理 香 (123期)

先日、六稜ホールで歓迎会があり我々123期同窓会委員が初めて先輩方と対面しました。初めての顔合わせということで、我々は緊張と不安で胸がいっぱいでしたが、明るく気さくな先輩方ばかりでしたのでとても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。まず先輩より、同窓会委員が具体的にどんな活動をしてきたのか、あるいは今後どのような活動をしていくかなどの話を聞きました。伝統ある北野高校の同窓会ということで話を聞く前は正直、堅苦しいものだと思像していましたが、FR委員会のよう

に若手を中心とした活動も展開されていたり、就活までやっているということを知って驚くと同時に非常に興味がわきました。今後の活動が楽しみになりました。

続いて今回出席された先輩方の自己紹介があり、在学時代のお話も聞くことができました。我々123期の自己紹介では在学時のクラブ活動のことや、今年度春からどうするかを皆さんにお話ししました。一人一人に対して先輩方が反応してくださり、そのおかげであまり緊張せずリラックスして話すことができました。その後、立食パーティーをしました。食事を前にしながら、大先輩いろいろなお話もできて楽しかったです。もちろん最初は会話一つとってもぎこちない感じでしたが、意外と強引な先輩もいらっちゃって、笑いも起こるようになりFR委員会の説明を受けるころにはすっかり緊張もほぐれ、場の雰囲気もアットホームになっていました。

昼食会のあと、FR委員会の活動についての説明を受けました。就活など興味深い活動もたくさんあることを知り、今後同窓会だけではなく、こういったさまざまな活動にも積極的にみんなに参加していこうと思いました。その後、先輩方と一緒に記念撮影をし、歓迎会は終了しました。北野高校での出会いをふまえてこれからのつながりになるべく太く長く多くできるように我々123期同窓会委員も先輩方からお力をお借りしながらではあると思いますが、精一杯頑張っていこうと思います。目指すは123期の特徴を生かした同窓会を行うことです。これから、まだまだわからないこともたくさんありみんなが楽しめる同窓会になるまでには少し時間がかかるかもしれませんが、我々で協力して良いものを作れるように頑張ります。



●期別対抗ゴルフ大会報告 運も味方した結束の勝利

藤 田 充 也 (77期)

遂にやった。常に下位低迷のチームがいきなり優勝だ。77期にシングルも運動能力の優れ者もいない。それでも8人が揃う不思議なチーム。ネットでは混成チームが1位であったが、混成では優勝資格がなく単独の77期が繰り上げ。

参加者一同、勝利への貢献を実感。今年は春秋の定期コンペのほか、6月北海道G遠征、8月特別コンペを企画し、幹事も増員したのが吉と出た。皆の結束は固く、隠しホールで叩く運も味方した。連覇も夢ではない。今回の優勝には、5月の春季コンペに参加しながら慌ただしく黄泉の国へ旅立った苗村もさぞびっくりしていることだろう。



今年のクラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第23回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ
日時: 2011年9月25日(日)
場所: 三田カントリー 27

来年の期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第23回六稜期別対抗ゴルフコンペ
日時: 2012年7月29日(日)
場所: 三田カントリー 27

同期会予告

●66期同期会総会

日 時：平成23年10月22日（土）
場 所：ホテルプラザオーサカ
大阪市淀川区新北野1-9-15
T E L：06-6303-1000
連絡先：水野 瑛子
〒664－0861 伊丹市稲野町4-34
FAX：072-770-2129

追って連絡いたしますが宜しくお願い致します。

●70期同期会総会

日 時：平成23年10月22日（土）
場 所：六甲荘
神戸市中央区北野町1-1-14
T E L：078-241-2451
連絡先：岸田孝之助
〒560-0084
豊中市新千里南町3－36－4
Tel/Fax：06-6831-3528
e-mail：kou-kishida@hera.eonet.ne.jp

●73期卒業50周年記念同窓会

日 時：平成23年10月10日（月・体育の日）
12：30～15：30
場 所：帝国ホテル大阪 孔雀の間東室
大阪市北区天満橋1-8-50
T E L：06-6881-1111
F A X：06-6881-4111
連絡先：梶本 興亜
T E L：06-6857-2562

記念ゴルフコンペの開催

日 時：平成23年10月11日（火）
8：28スタート6組確保
場 所：六甲CC
〒651-1422
西宮市山口町金仙寺釜ケ尾1655-1
T E L：078-903-1211
F A X：FAX 078-903-1711

連絡先：久保田静
T E L：072-831-3804

●74期 みなわ会のご案内

日 時：平成23年11月25日（金）
14時～17時
場 所：関西文化サロン（会員制クラブ）
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル19階
TEL：06-6316-1577

オプション企画（希望者のみ）
13:30 大阪市北区芝田2-10-39
大阪府済生会中津病院の前庭にある
北野中学校跡記念碑前に集合

詳細は10月中旬に、郵便でご案内しますので、出欠について返信下さい。
今年の幹事（4、5、6組）代表 織田公文

●76期同期会総会

日 時：平成23年11月26日（土）
17時より
場 所：ホテルプラザオーサカ

学年代表幹事 奥田稔
事務局 北岡満

●88期同窓会

日 時：平成23年11月6日（日）
場 所：ホテルプラザオーサカ
大阪市淀川区新北野1-9-15
T E L：06-6303-1000（代）
1次会：13時～16時 19階 淀の間
2次会：16時～18時 3階 バーラウンジ北野

本年は2年に1度の88期の同窓会開催年です。スケジュールに入れておいてください。
詳細は往復ハガキでご案内しますので、ハガキが届きましたら、出欠について返信下さい。
88期学年理事 坂東政市 大田晶子



■北野高校国際交流

今年も5名の生徒(124期生)と2名の教員がケントを訪問しました。今回の号ではその様子を、国際交流報告集をもとに時間を追って紹介していきます。

◇派遣生徒の選考 2010年12月

12月、ケントの抽選を当てた。今までにくじ運が良かった覚えもなかったのが本当に驚いた。初めての海外、ホームステイ。アメリカの学校に通学。出発前からどんな世界が待っているのか楽しみでいっぱいだった。(Thanks, America!)

◇出発まで 2011年3月

そして出発まで1週間と迫ったとき、ようやく2人目のホストが決定。これまた1歳年下のMatthew通称Mattです。ほんとにどこまで驚けばよいのでしょうか、彼もまた例の趣味をお持ちだったので。しかも彼の場合は筋金入りで、「家でいるときは、ゲームとパソコンに何よりも時間を費やしているよ！！」ボクはアニメクラブとゲームクラブの部長だよ！！ということがプロフィールに書かれていました。(サブカルで繋がる友達の輪)

◇シアトル着(現地時間) 3月20日

1週目のKentWoodのホストは、Amandaでした。去年の夏に北野に来たので覚えている人も多いと思います。彼女は、本当に素晴らしい人です。頭がすごくよくてスタイルもいいかなりの美人なのにとてもおちゃらけていておもしろくて思いやりがあって、まわりにいる人みんなを惹きつけてしまうような人でした。Amandaの日本語が上手だったのでわたしが聞き取れなかったら訳したりしてくれて、とても助かりました。(Peace Out, My Favorite America !)

◇ケントウッド校での生活 3月21日～

最初びっくりしたことこの1つは、授業中飲食OKであるということだった。食べきれなかったお昼ごはんを食べながら授業を聞くのは、慌ただしい北野での早弁とは全く違っていて不思議な感じがした。どの授業も生徒の発言や質問がかなり自由で、日本とは全く違う学校生活だった。毎日色々な人に話しかけて、毎日新しい友達が出来た。日本語クラスにすることが結構あったが、みんな喋りやすく楽しい子ばかりだった。毎朝日本語クラスに集合して、授業を受け終わると日本語クラスに帰って来る、というのが習慣になると、日本語クラスは居心地のいい第二のhomeのような存在になっていった。(Thanks, America!)

アメリカの高校はめずらしくておもしろそうな授業がいっぱいだったので、ホストが出席する授業だけでなく、わたしたちは自分の行きたい授業を受講させてもらっていました。私たちが校内で迷っていたら全然知らない人でも、道案内してくれたり、わざわざ連れていってくれたり、その上授業担当の先生にわたしたちがその授業を受けられるように交渉してくれたり、KentWoodの生徒の親切さにはすごく感動しました。KentWoodの人たちには迷惑をかけたと思いますが、勇気を出して、片言のへたな英語で知らない人と交流して自分たちで動くこともすばらしい経験になったと思います。わたしたちは本当に自由にさせてもらいました。(Peace Out, My Favorite America !)

◇Cherry Blossom Festival 3月25日

この祭りは日本の高校と国際交流をしているKent地区の4つの高校が持ち回りで開いているお祭りで、日本及びアジアのことを知ってもらうというのが趣旨です。どれほどの規模だろうかと思っていたのですが、5日目のお祭り当日、次々と人がやって来て、お祭りが始まる30分前にはメイン会場の食堂は人でいっぱい、身動きが取れないほど。こんなに人が来るほどの大きなイベントなんだと驚かされました。当日本当にたくさんの方が来てくれたのは、日本の高校生との国際交流が多くのものをもたらすと考えられているからでしょう。だからこそCherry Blossom Festivalに来て、国際交流をサポートしてくれている。多くの人の善意と努力にこの国際交流は支えられているのだということを私自身感じましたし、生徒たちにも感謝の気持ちを持ってほしいと思います。このプログラムは今年で始まって20年になります。海外とのやりとりなので、負

担は大きいですが、双方に実りある成果や意義をもたらしてくれています。だから、ぜひとも絶えることなくこれからも続けていければと考えています。

(Kentwood 高校滞在記 英語科・松山教諭)



◇ケントレイク校での生活 3月28日～

2週目はカイルの通うケントレイク高校に通いました。カイルもまた0時間目から授業があり大変でした。レイクはウッドとは雰囲気違ってなじむのに少し時間がかかったため、ウッドに戻りたいと思うことがしばしばありました。去年の体験記にも書いてあった、いわゆるウッドシックです。学校では、日本でも使ったことのないろくろをつかってどんぶりを作ったり、ダンスの授業でみんなと踊ったり、パーティーをしたりととても楽しい時間をすごすことができました。(中略)話を戻しますが、2週目は1週目とは違ってほとんど家にいることが多かったため、学校で北野の生徒を見るとお互いに引きつけられるように集まり延々と日本語で会話をしていました。ホストの子は少しさびしく思ったかもしれませんが、反省しています。どちらかというと穏やかに過ごした2週目でした。(I love America)

◇日本文化について発表 3月29日

2日目は日本から準備していったプレゼンの日でした。WOOD校でも発表しているので生徒たちは慣れたもの。堂々と発表していました。着物、相撲、折り紙、アニメなど日本人が聞いても興味深い内容でした。浴衣を着せてあげたり、手裏剣を折ったり、『萌(もえ)～』の使い方もマスターしてもらったり、と楽しみながら交流ができていたのではないかと思います。

ランチタイムに校長先生にご挨拶に行きました。とてもお忙しい中、私たちが持参した学校アルバムを一ページずつ見ながら北野高校について興味を持って話を聞いてくださいました。

(Kentlake 高校滞在記 英語科・坂口教諭)

◇帰国(日本時間) 4月3日、思い返せば…

2週目は放課後みんなで遊ぶということはほとんどできず、Alisaとショッピングが多かったです。Alisaとずっと一緒にいたのでお別れはとても悲しくてしかたがありませんでした。そして日本に帰ってきてます思ったことは、日本の食べ物がおいしいということです。アメリカの食べ物はとりあえず甘くて多い！でもピザはアメリカのほうがおいしいです。学校での昼食は制服バスで食べ放題飲み放題だったのでなんか気持ちよかったです。そして私はいまだにケントシックが続いています。でも、アメリカにいたときは一度もホームシックになりませんでした。ライスシックにはなっただけ。

出発前、私は英語が聞き取れるか、伝えたいことが伝えられるかということがとても不安でした。しかし、その不安があったからこそ気付いたことがあります。それは伝えたいという強い気持ちがあれば時間はかかるけれど伝えられるということです。最終的には単語を並べるだけでも伝わります。だから電子辞書はアメリカでは生活必需品でしたが、伝えられるかどうかを決めるのは私の伝えたいという気持ちでした。(「I love you all !!!」)

都市部から少し離れた郊外の2つの高校、ケントウッド高校とケントレイク高校。ここで出会い、経験したことは現代の日本人が忘れてしまっ



ているような大切なことだと感じました。ケントでたくさん友達をつくり、将来役立つような教訓や生き方を知ることができ、本当に貴重な経験ができたと確信しています。これからは英語、特にリスニングやスピーキング面の訓練をして、もっと話せるようにますます精進しようと思います。そして、ケントでできた友達の多くが進学するワシントン大学に、ショートステイなどの機会があれば、もう一度、ぜひ訪れてみたいと思います。

(サブカルで繋がる友達の輪)

文化活動振興賞の受賞に寄せて

社会科教諭 穴井友知(102期)

このたびは、オーケストラ部の扇町教会における音楽礼拝活動に対し、文化活動振興賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。

大阪市北区の繁華街の一角で100年の歴史を持つ扇町教会では、日曜日毎に主日礼拝が営まれており、1年に1回、オーケストラ部がその礼拝の中に入って、日頃練習している曲を披露したり、賛美歌の伴奏を行ったりするのが、音楽礼拝と呼ばれるものです。20年以上前、私自身がオケ部の現役部員であった頃、すでに存在していました。

初めての音楽礼拝は、音楽部OBの(故)北沢恵一さん(66期)のご尽力により1982年に実施され、以降、30年近い回数を積み重ねています。正味の演奏時間はごく短いのですが、部員の演奏技術水準が毎年異なるうえ、礼拝に適した選曲を行う必要もあり、苦勞する年もありました。ただ、教会の方々は毎年温かい眼差しで迎えてくださり、演奏後には昼食までご用意いただいて、何時からか、オケ部にとっても教会にうかがうのが恒例行事になっていました。

演奏の時期は、12月・1月・11月など変遷してきましたが、曲目は大バッハを中心としたバロック時代のものが多く、音楽科佐々木教諭のご協力により、部員以外の有志生徒を交えてハイドン・ヘンデル・メンデルスゾーンなどの合唱曲を披露したこともあります。ここ数年は、20世紀の音楽を紹介する機会もありました。

今回いただいた受賞楯には、「OBの尽力」「音楽が天に届いた」等の言葉が刻まれています。現役部員のみが受賞対象者ではなく、歴史的に音楽礼拝に関わってきたすべての人たちと共に、文化活動振興賞の受賞歴の中でも特別なものをいただいた感慨を胸に、今後の部活動を続けていきたいと思っています。

2006年の演奏



2010年の演奏



平成23年大学合格者・就職者数一覧

国立大学		公立大学		私立大学	
北海道大学	6	国際教養大学	1	慶応義塾大学	13
東北大学	2	首都大学東京	1	中央大学	14
筑波大学	2	岐阜薬科大学	1	東京理科大学	8
群馬大学	1	名古屋市立大学	1	明治大学	4
東京大学	3	滋賀県立大学	1	早稲田大学	20
東京外国語大学	1	京都市立芸術大学	1	京都女子大学	10
東京海洋大学	1	京都府立大学	4	京都薬科大学	11
東京工業大学	2	京都府立医科大学	2	同志社大学	165
一橋大学	1	大阪市立大学	12	同志社女子大学	1
横浜国立大学	2	大阪府立大学	24	立命館大学	172
新潟大学	1	神戸市外国語大学	1	龍谷大学	3
福井大学	1	兵庫県立大学	8	大阪薬科大学	8
信州大学	1	奈良県立医科大学	1	関西大学	48
岐阜大学	2	和歌山県立医科大学	2	近畿大学	23
滋賀大学	3	合 計	60	関西学院大学	82
滋賀医科大学	3			甲南大学	10
京都大学	51			神戸女学院大学	2
京都教育大学	1			神戸薬科大学	3
京都工芸繊維大学	10			武庫川女子大学	3
大阪大学	47			その他の私立大学	41
大阪教育大学	9			合 計	641
神戸大学	30				
兵庫教育大学	1				
奈良女子大学	2				
鳥取大学	2				
岡山大学	2				
広島大学	1				
山口大学	1				
徳島大学	2				
愛媛大学	1				
高知大学	1				
九州大学	4				
長崎大学	1				
宮崎大学	2				
合 計	200				

種別合計	
国立大学	200
公立大学	60
私立大学	641
短期大学	0
準大学等	0
専修学校等	0
就 職	0
合 計	901

教職員異動
(2011年4月現在、敬称略)

・退職	
校 長	八尾 隆 大阪工業大学へ
教 諭	国語 中村 一郎 再任用教諭として吹田高等学校へ
教 諭	理科 小西 喜朗 再任用教諭として引き続き本校に勤務
常勤講師	数学 安田 貴代美 今年度は非常勤講師として本校に勤務
常勤講師	理科 明仁 憲一
・転出	
教 諭	国語 萩原 美香 住吉高等学校へ
教 諭	理科 堀川 理介 大阪教育大学付属平野高校副校長として
教 諭	英語 福本 宏樹 柴島高等学校へ
主 事	北川 泰江 茨木支援学校へ
・着任	
校 長	楠野 宣孝 大阪府教育委員会教育振興室より
教 諭	国語 河濟 聡美 新任
教 諭	国語 細江 敦子 柴島高等学校より
教 諭	社会 安藤 哲 箕面高等学校より再任用
教 諭	数学 大前 裕佳(117期) 新任
教 諭	理科 金岡 翔 新任
教 諭	英語 森田 一義 新任
主 査	近藤 康廣 山田高等学校より再任用
常勤講師	国語 原田 淳
常勤講師	理科 田中 宏之
常勤講師	理科 柳 晶子

おくやみ
昨年11月14日に村田義人先生（校長S58～60）、
本年5月18日に阿部俊一先生（書道S25～56）
がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し
上げます。

六稜文庫6月末までのご寄贈受付分

http://rikuryo.or.jp/books/
「はとバスをV字回復させた社長の習慣」
宮端清次(65期)
「新潮日本文学アルバム 梶井基次郎」鈴木貞美
「ザ・基次郎 梶井基次郎全一冊」梶井基次郎(32期)
「リウマチと上手に付き合おう」
塩沢和子監修(82期)
「ダムのはなし」
「甲斐路と富士川へ」
「東洋の知恵の環境学」
「職人と匠 ものづくりの知恵と文化」
「風土工学への招待」
「風土と地域づくり」
「続 ダムのはなし」
「風土工学の視座」
「県の輪郭は風土を語る一かたちと名前の四七話」
「ダムは本当に不要なのか」
竹林征三(74期)
「ビジネス三國志」
「1からの流通論」
「1からのマーケティング 第3版」
清水信年(102期)
「トマス・ハーディ全集 詩集Ⅰ」
伊藤佳子（翻訳者(75期)）
「片付けと収納がらくになる仕組みづくり
ライフオーガナイズ」 佐伯新和(98期)
「六稜の星に輝く北野高等学校野球部年史」
北野高等学校野球部年史編集委員会
「食育のまち 紀の川市」 田中卓二(95期)

六稜グッズ



◎Tシャツ
Mサイズ …800円[TSM]
Lサイズ …800円[TSL]
LLサイズ…800円[TSL]
(※2枚で1,500円)



◎ハンカチ Sサイズ…300円[HDKS]
ハンカチ Mサイズ…400円[HDKM]
(※郵送の場合は3枚以上をお願いします)



◎絵はがき
校内スケッチ…500円[PSS]



◎金属製「栞」
…300円[BMK]
(※郵送の場合は3枚
以上をお願いします)

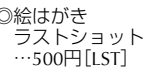


◎書籍「北野130年史」(B5判)
…2,000円[130]

◎書籍「われら六稜人」シリーズ(A5判)

1998年	…1,500円[W98]
1999年	…1,500円[W99]
2000年	…1,500円[W00]
2001年	…1,500円[W01]

上記4巻セット…4,000円[W45]



◎絵はがき
ラストショット
…500円[LST]

28 六稜会報 第57号(平成23年9月1日発行)

RIKURYO KAIHO, Journal of the RIKURYO Alumni Association of Kitano High School-No.57(Sep.1,2011) 29

事務局だより

事務局長ご挨拶

笹川忠士（74期）

今年4月1日付で六稜同窓会事務局長に就任しました74期の笹川忠士です。同窓会には平成17年から学年理事として参加しておりますが、本格的に同窓会活動に参画するのは今回が初めてです。微力ながら同窓会活性化のために力を尽くす所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。

私は北野高校時代は柔道部に所属しておりました。現在柔道部OB会である六稜柔友会の副会長を務めさせていただいております。偶々本号の特集で柔道部を取り上げていただいておりますが、その中で六稜柔友会が国際交流基金設立の端緒となったことが述べられておりまして、柔道部OBの一員として同窓会活動に貢献できた好例であると誇らしく思っております。

さて今回六稜同窓会事務局を運営するにあたりまして私は次の3つのキーワード（3C）を運営目標とすることとしました。

- ①コミュニケーションの充実を図る。（情報の共有化）
会員、各委員会、学校の情報を収集し、タイムリーに会長、副会長、常任理事に情報を提供するとともに出来る限り情報を公開していく。
- ②コンセンサスを図る。（合意形成）
各委員会の委員長、先生方と連携を密にし、議論を重ねた上で意見の一致を図る。
- ③コラボレーションを行う。（共同作業）
各委員会の委員長および委員、先生方と協力、連携し、共同作業を行う。

以上のキーワードの基に4月1日からは久保田静事務局次長（73期）に加えて新たに事務局次長として76期の藤村研二氏を迎え、従来の週3日体制から週5日オープン体制に移行して事務局運営を行っております。明るく開かれた事務局を目指しておりますのでどうか皆様お気軽にお立ち寄り下さい。

そして山本会長方針の「同窓会に寄ってたかって状態を作り」会員全員で同窓会活動を盛

り上げていきたいと思っておりますので皆様方の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

理事会報告

- 平成23年2月25日開催
 - 平成23年度予算案が承認された
 - 4月以降の事務局体制についての説明があり、週5日オープンと決まった
 - 委員会規定を説明
 - 会報56号発刊及びWEB投稿規定を説明

- 平成23年6月25日開催
 - 平成22年度一般会計決算及び基金会計決算を承認
 - 138周年総会詳細説明
 - トークリレー日程及びアーカイブ部会の報告
 - FR委員会報告、11月に就活相談所開催予定
 - 第54回東京六稜会総会報告

理事会終了後、総務・名簿・広報の各委員会を開催

年会費納入状況

平成22年度年会費は5,572人の方に納入して頂きました。過年度分と合わせ6,449名19,318千円となり、ここ数年で最高の納入となりました。

23年度の6月末現在の納入状況は、納入者は3,960人で、納入率は14%です。納入率の最も高い期は61期、次いで65期、60期、58期の順となっております。

また、今年も同期会をされる期の方々に払込用紙お配りし、納入のご協力を頂くつもりです。何卒よろしくお願いいたします。

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いします。
銀行振込は下記口座をお願い致します。

三井住友銀行・十三支店
普通 1077672 六稜同窓会

銀行振込に際しては、必ず会員番号・氏名の順で記入してください。振込費用は各自で負担をお願いします。

お悔やみ

2010年9月以降、2011年7月までにご連絡を頂きました方々をご卒業期順、およびご逝去日順に掲載しております。謹んでお知らせ致します。（敬称略）。

42期	金子	龍一	2011年1月27日
46期	荒川	玄一郎	2011年3月14日
48期	飯田	周助	2011年1月21日
49期	尾向	三治	2010年10月21日
50期	木本	徹	2011年4月8日
51期	菅原	努	2010年10月1日
	竹本	昇一	2011年1月31日
52期	高尾	正男	2010年9月5日
	田中	早苗	2010年9月22日
	吉川	浩一	2010年10月18日
	浅井	三郎	2010年10月
	勝	武郎	2010年10月
	小池	淳之	2010年10月
	佐竹	一夫	2011年5月21日
	掘井	正一	2011年7月2日
53期	矢野	寛	2010年10月21日
	深田	淳夫	2010年12月10日
	田畑	日出也	2011年1月4日
55期	黒田	一之	2010年9月2日
	森本	信男	2010年9月13日
	岡	三郎	2010年11月14日
	佐野	彦次郎	2011年1月10日
	伊藤	泰三	2011年1月15日
	山本	孝光	2011年3月9日
56期	日笠	俊一	2010年10月31日
	角	正夫	2011年3月9日
57期	楠瀬	好治	2010年9月19日
	丹下	庄一	2010年10月11日
	田中	敬一	2011年2月23日
	北垣	陸三郎	2011年3月4日
	並河	薫	2011年4月4日
	池田	俊	2011年4月8日
58期	小林	潤伍	2011年1月4日

	田山	肇	2011年2月11日
	佐々木	節也	2011年6月13日
59期	川端	豊	2011年3月5日
60期	廣瀬	幸治	2010年11月18日
	中村	喜一	2011年4月8日
	鎌倉	利行	2011年4月24日
61期	田中	照夫	2010年9月17日
	中出	日出男	2011年1月5日
62期	三国	光造	2011年2月15日
	杉本	時哉	2011年2月28日
	三谷	格	2011年2月
	北山	昌	2011年4月6日
63期	小寺	完一	2010年12月17日
	斎藤	富美子	2011年1月16日
	二宮	清延	2011年4月25日
64期	田村	茂	2011年2月4日
	碓井	盛蔵	2011年5月3日
	大宅	淳平	2011年5月28日
65期	浦上	種子	2011年2月9日
66期	玉水	重蔵	2010年12月23日
	今田	弘	2011年4月21日
67期	田中	学	2011年5月30日
68期	伊藤	勝	2011年2月8日
69期	山本	和郎	2011年3月18日
	三野	勲	2011年5月5日
71期	佐々木	象二郎	2010年11月26日
	富田	達夫	2011年4月11日
73期	中村	秀樹	2010年10月9日
	木村	市三	2011年2月19日
	宮武	淑子	2011年3月11日
74期	大西	昭宣	2011年1月10日
	門田	次郎	2011年3月
76期	稗方	弘文	2010年9月5日
	青木	真人	2011年
77期	苗村	隆太	2011年6月30日
86期	古田	裕	2010年11月23日
91期	光森	通英	2011年4月29日

東日本大震災支援金の件

このたび東日本大震災支援金のお願いを申し上げたところ、多数の方々より趣旨で賛同いただきましてお振込みいただき誠にありがとうございました。これまでにお振込みいただいた計1,214,760円を大阪府及び日本赤十字社に寄付させていただきました。お振込みいただいた方々は下記の通りであります。（振込み順、敬称略）
藤田秀昭(62期) 立野隆資(74期) 立野和彦(71期) 北村芙佐子(64期) 稲本満寿雄(54期)林 浩介(93期) 荒川俊子(70期) 大倉春子(74期) 大野由利子(72期)

邑上治兵衛(68期) 於勢昌樹(69期) 泰地暉高(74期) 友行久昭(71期) 土田芙美子(70期) 金田久子(77期) 今城文雄(78期) 松井啓子(72期) 笹川忠士(74期) 遠藤啓子(78期) 大川剛義(97期) 灰井正起(72期) 加藤千恵子(74期) 木下慎一郎(72期)
北野56期の集い、62会同窓会、64期、65期、東京六稜会、67期同窓会、北庭会、六稜卓球部、六稜ラガークラブ
誠にありがとうございました。